

【記載例】

申告していただく方の「住所」、「氏名」及びこの申告に应答していただく方の「氏名」、「電話番号」を記入してください。

該当する申告事由に☑をいれてください。

「申告事由」が発生した年月日を記入してください。

当該施設が
① 公衆浴場営業許可を受けている場合は「公衆浴場」とその種別に☑を記入してください。
② 旅館業営業許可を受けている場合は、「ホテル、旅館又は簡易宿所」と日帰り利用ができるかどうかに☑を記入してください。
③ ①及び②の両方の許可を受けている場合は、両方を記入してください。
【例】
一般公衆浴場(銭湯)の場合は、「公衆浴場」と「一般」に☑を記入してください。

入湯税に係る経営申告書

令和 5 年 11 月 ×× 日

大 阪 市 長

処 理 事 項

通 信 日 付

確 認 欄

台 帳 番 号

〒 530 - ××××

大阪市北区中之島〇丁目〇番〇号

(電話番号 06 - 6208 - ××××

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)

大阪〇〇温泉株式会社 代表者 大阪 花子

(フリガナ) オオサカ〇〇オンセン(カブ) オオサカ ハナコ

氏名(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

大阪 花子

この申告に应答する者の氏名及び電話番号

経理担当 大阪 太郎

(電話番号 06 - 6208 - ××××

大阪市市税条例第139条の7第1項又は第2項の規定により、次のとおり申告します。

申告事由

☒ 開始 ☐ 変更 ☐ 廃止 ☐ その他 ()

上記申告事由の発生年月日

令和 5 年 12 月 ×× 日

鉱泉浴場の所在地

〒 541 - ××××

大阪市中央区船場中央〇丁目〇番〇号

施設の種類

(フリガナ) ホテルセンバチウオウ〇〇

ホテル船場中央〇〇

施設の種類

☐ 公衆浴場 (☐ 一般 ☐ その他)

☒ ホテル、旅館又は簡易宿所 (日帰り利用 ☒ 可 ☐ 不可)

☐ その他 ()

日帰り利用に係る入湯に要する費用
(消費税額及び地方消費税額相当額を除く。)

☐ 常に1,500円以下である ☒ 1,500円を超える又は超える場合がある

別添料金表参照

円

温泉法による温泉利用許可日

令和 5 年 11 月 ×× 日

公衆浴場法による営業許可日

年 月 日

旅館業法による営業許可日

令和 5 年 11 月 ×× 日

備考

処理事項

添付書類

・温泉利用許可書(写し)
・公衆浴場営業許可書(写し)
・旅館業営業許可書(写し)
・施設の利用料金がかかる書類

注1 該当する□にレ印をつけてください。

注2 ※印欄には記入しないでください。

注3 ご記入いただいた内容に変更が生じた場合は、直ちに変更内容を申告してください。その場合は、変更点のみご記入ください。

鉱泉浴場施設の「名称」、「所在地」を記入してください。

当該施設が
・共同浴場
・医療提供施設
・社会福祉施設
である場合は、「その他」に☑を記入し、該当する施設の種別を()内に記入してください。

各許可を受けた日を記入してください。

該当する各許可書の写しを添付してください。

日帰りで利用が可能である施設のみ記入してください。
ご記入いただいた利用料金を確認できる書類を添付してください。

※共同浴場、物価統制令に基づき入浴料金が定められている一般公衆浴場(銭湯)、医療提供施設又は社会福祉施設の場合は、利用料金がかかる書類の添付は不要です。

※料金の設定が複数あり、記入しきれない場合は、「別添〇〇参照」等とご記入を省略していただいて結構です。

【利用料金のわかる書類の例】
・利用料金一覧表
・利用料金を掲載したホームページの写し
・パンフレットや広告チラシ
・発行している回数券、割引券や無料券の写し など